

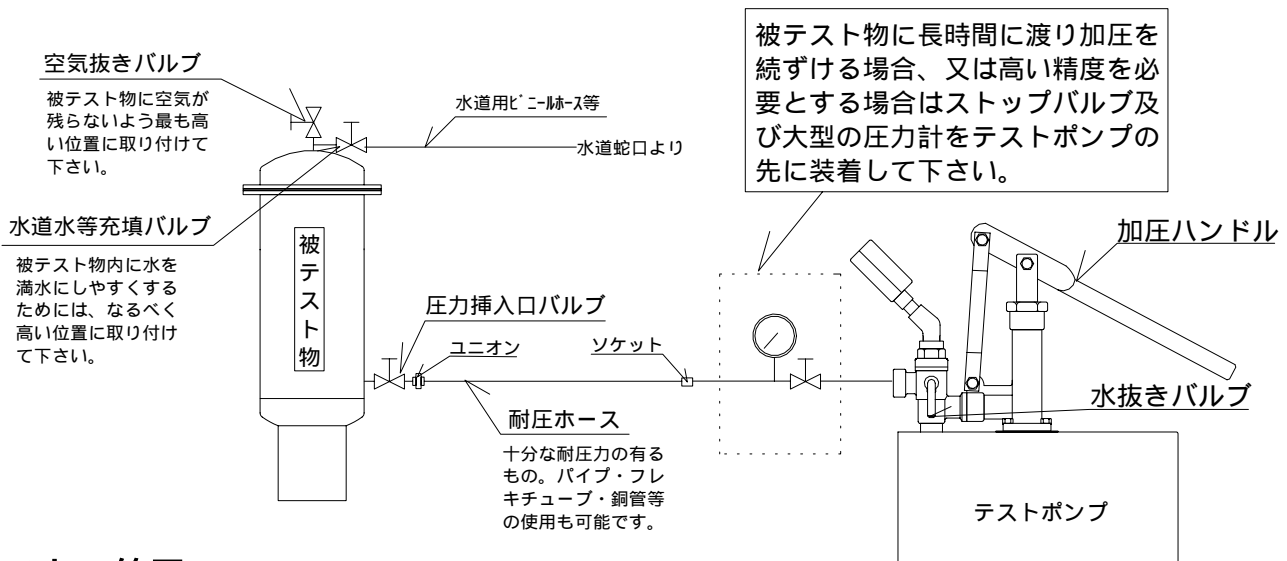
# 手動式 水圧テストポンプ テストの要領

## 圧力容器等の水圧テスト

- 1) 被テスト物にバルブを取付ます。(圧力挿入口、空気抜き、水道水充填口)
- 2) 圧力挿入口のバルブを閉じ、空気抜き及び水道水充填口のバルブを開きます。
- 3) 被テスト物に水道水にて水を充填します。
- 4) 被テスト物が満水になれば、水道水を止め水道水充填口のバルブを確実に閉めてください。  
この時、水道ホースは被テスト物より取り外してください。(万一の場合にも水道管への逆流を防ぎます)
- 5) テストポンプと被テスト物との間を付属の耐圧ホース等にて連結します。  
被テスト物に長時間に渡り加圧を続ずける場合、又は高い精度を必要とする場合は点線内のように、ストップバルブ及び加圧圧力に適した大型の圧力計をテストポンプに装着して下さい。
- 6) テストポンプの水槽に清浄な水を入れます。
- 7) テストポンプ本体の水抜きバルブを開き、加圧レバーを上下に数回操作します。  
テストポンプ内部の空気が、水抜きバルブ近くの口より水と共に抜けます。
- 8) テストポンプ本体の水抜きバルブを確実に閉じ、被テスト物の圧力挿入口バルブを開きます。
- 9) テストポンプの加圧レバーの上下操作を続け、被テスト物の空気抜きバルブより空気が抜け、水が出始めれば空気抜きバルブを確実に閉めて下さい。
- 10) テストポンプの加圧レバーの上下操作をさらに続けると圧力が上がり始めます。  
所定の圧力に上昇したところで加圧レバーの操作を止めて下さい。  
点線内の装置を装着している場合は、点線内のバルブを確実に閉めてください。
- 11) 圧力計を確認し、圧力の降下が無ければ被テスト物の漏れは有りません。  
さらに、可能な場合は目視にて溶接部・接続部等を確認して頂ければ完全です。

## 圧力計の針が降下する場合

- 1) 被テスト物に漏れが有る。
- 2) 接続の耐圧ホース及び継ぎ手部分に漏れが有る。
- 3) 被テスト物中に空気が混入している。  
被テスト物中に空気が混入していると、正確なテストができません。再度空気抜きをしなおして下さい。
- 4) テストポンプ本体のチャッキ弁にゴミ等が附着している。



## テストの終了

- 1) テスト終了後は水抜きバルブを開き、圧力を解放します。
- 2) 圧力挿入口バルブを閉じ、耐圧ホース等を被テスト物より取り外します。
- 3) 被テスト物内の水を排水しテスト終了です。

(資) 金内商会  
TEL 03-3635-1551